



「神奈川リフレッシュプログラム」

2018年報告書

福島子ども・こらっせ神奈川



後援

梶葉町 梶葉町教育委員会 双葉町 双葉町教育委員会
山北町 山北町教育委員会 神奈川県 神奈川県教育委員会
(財) 神奈川県高等学校教育会館

謝辞

暑さと台風の中、病気・ケガもなく楽しくできました 第7回リフレッシュプログラム成功！！

台風にも夏の暑さにも負けず楽しく当初の目的を実現できました。子どもたちの嬉しそうな顔がそのことを物語っていると思います。今回の参加者は、中学生が部活等の関係もあり参加いただけませんでしたが、小学2年生1名、3年生2名、5年生12名、6年生11名総計26名となりました。運営は学生・学生OB16名、大人ボランティア15名が協力して担い、山北・三保小学校11名の生徒さんとの交流もありました。台風が来るとの天気予報の中でしたので、諸行事を安全第一で実施しました。天の神のご協力もいただけたのか川遊びも実施でき、ゲーム、花火、BBQ、キャンプファイヤーも行い、帰りには横浜みなとみらい地区散策もあり楽しい2泊3日を過ごすことができました。

私たち「福島子ども・こらっせ神奈川」は、2011年3月11日の地震と津波による災害、加えての原子力災害の中で、思い悩みながら福島居住を選択した小・中学生の支援が必要であるとの思いで活動してきました。

国・福島県は、7年の経過の中で住民の帰還への動きを強めています。あたかも災害のことは、終わった、もう大きな問題はない、そう思いたいとの風潮も少なからず生じている、と思われます。しかし帰還にかかる、生活の保障、雇用の確保、生活環境の整備、人々の健康、中でも子どもたちの健康保持への心配はなくなりません。これらの問題で思い悩む方も多いと聞きます。

今後の福島には、引き続き帰還と生活を巡り様々な問題があります。私たちの活動が、それらの問題解決へ少しでも役立てればと思っています。近い将来には、ともに活動してきた大学生・OBの若い力がより中心的な役割を担ってゆくことを期待したいと思っています。参加した子どもたちの嬉しそうな顔を思い出しつつ、支援活動を始めた時の原点を忘れず、活動の今後を見通してゆきたいと思っています。

このプログラム実施には、福島県檜葉町、檜葉町教育委員会、福島県双葉町、双葉町教育委員会、神奈川県山北町、山北町教育委員会、神奈川県、神奈川県教育委員会、(財)神奈川県高等学校教育会館をはじめ多くの団体・市民の皆様のご支援ご協力を頂きましたことに感謝し、実施報告と御礼とします。ありがとうございました。

「福島子ども・こらっせ神奈川」代表 山際正道

プログラム

日 程 2018年8月6日(月)～8日(水)

場 所 山北町中川温泉丹沢荘 山北町丹沢湖ロッジ

	午前	午後	夜
8月6日	いわき出発	オリエンテーション	ウェルカムパーティー・花火大会
8月7日	体育館遊び	川遊び・BBQ	キャンプファイヤー
8月8日	横浜に移動	みなとみらい散策	いわき到着

8月6日（月）

福島を出て東京駅に！神奈川まで電車の旅！



とても楽しみ～



やっと丹沢荘に到着！！



今日から一緒に過ごす大学生の紹介



アイスブレイキング



お絵かきリレーや
ペーパータワーで遊びました♪



丹沢荘が今年8月末で閉鎖しました。
6年間、大変お世話になりました！



駆けつけてくださった湯川町長
・石田教育長・小塚課長・渡辺課長

花火大会が楽しかった



8月7日（火）



山北町立三保小学校の
飯田校長先生よりお話



山北っ子と一緒に体育館遊び！
思いっきり動くぞー



待ちに待った川遊び！なんとかできて良かった！！



大好きなカレー！





スイカ割り！
右だよー！左だよー！



甘くておいし〜い！！



丹沢湖ロッヂで入所式



火の神登場



BBQの肉が
美味しかった！



ひよっこりはん
登場！！

学生スタントは恋するフォーチュンクッキー



バナナ星人が面白かった



山北っ子とさようなら！また会おうね！



8月8日（水）

待ちに待った横浜散策！！
天気もなんとかなりました！



三菱みなとみらい技術館で
色々な体験ができて楽しかった！



みなとみらい
散策！！



ランチしたり！
お土産探したり！



ランドマークタワーで
一瞬だけ景色が
きれいに見えた！！



品川駅で学生とさようなら！
また来年会おうね～



無事に
いわき到着！

桜木町から品川駅まで
電車移動～



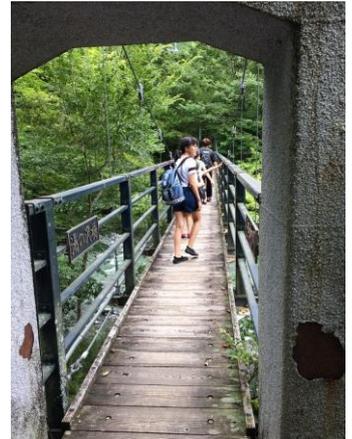
子どもたちの感想

～福島っ子～

今年初めて参加して、スタッフのみんながやさしくて安心しました。しゅくはく場所もとてもゆっくりできる場所なので、うれしいです。

おふろがきもちよかったですのでよかったです。ようち園の友達と会えてうれしかった。ゲームが楽しかったです。

今年で3回目の参加なのですが、今年は友達といっしょに参加しました。新しい友達もたくさんできてよかったです。夕ご飯たくさんおいしいものがでてきておいしかったです。



バーベキューはあまりやったことがなかったのでうれしかったです。それにマシュマロがおいしかったです！！

みほ小学校のみんなとふれあうことができ思い出になりました。バーベキューははんのひととも協力しておいしい料理ができました。

久しぶりに水遊びができたのでうれしかったです。とても楽しくて肩までつかって冷たかったです。また遊びたいです。

横浜ではみんなでいろいろまわることができて楽しかったです。

～山北っ子～

1番楽しかったのはキャンプファイヤー。川遊びも楽しかったです。

お風呂が気持ちよかったです。川遊びもできて、マシュマロも食べられてよかったです。

こらっせが毎年の夏の楽しみになっています。

学生の顔を覚えていました。楽しかったです。



こらっせユースの感想

今年は学生リーダーとして参加させていただきました。班付きではなかったため、様々な班の子ども達と交流することができました。2年前に参加した子ども達が成長した姿で笑顔を見せてくれた時は本当に嬉しかったです。「こらっせが1番楽しい」「来年もまた来たい」と言ってくれました。最終日、5年生からお手紙を受け取りました。そこには「1年間忘れないでね。」と書いてありました。子ども達1人1人に何ができるかは分かりません。けれど、来年も必ず会って笑顔届けたいと思いました。

リフレッシュプログラムを通して印象深いことは、子ども達は1年に1回のこらっせの活動をすごく楽しみにしているということです。その期待に応えたいという使命感が湧いてきて、3日間どうすることが子どもにとって楽しいのかを考えながら活動することができました。教育学部の自分にとって、子どもと3日間共に過ごすという貴重な体験は、教育に対する考えを見つめ直すことにつながり、とてもよい学びができました。こらっせを運営、または支援してくださる大人の方々や、この活動に参加して下さる福島の方々、学生スタッフの方々に感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございます。来年も子ども達に笑顔届けられるように頑張ります。

今回初めて学生ボランティアとして参加しました。ですが、こらっせに参加したのは4回目です。1・2回目は中学生の時に檜葉っ子として、3回目は高校生ボランティアとして参加してきました。初めてこのプログラムに参加した時、震災後離れ離れになった級友と再び会えたこと、それが何よりもうれしかったです。

横浜に到着すると事務局スタッフや地元の学生が自分たちを温かく受け入れてくれました。最初は年齢が離れていたこともあって、学生との間に少々壁を感じていましたが、宿泊施設でのレクリエーションや横浜散策等を通して、徐々に打ち解けていき、帰路につく頃にはバスの中で5日間の振り返りをして友達と盛り上がっていました。



「今度は自分が学生ボランティアになって子ども達を楽しませたい！」これは参加した当初から強く思っていたことでした。今回自分がその立場になれたことは非常に貴重な経験でした。もちろん想定外の事態で企画が予定通りにならないこともありましたが、ですが、不思議なことに子どもの楽しむ様子や笑顔で話しかけてくる姿を見ると5・6年前に参加した自分が懐かしく感じて、今自分がやっていることにすごくやりがいを感じました。私はこれからも学生ボランティアとしてこらっせに携わっていくつもりです。「僕も私もボランティアになりたい！」そんな子が増えればいいなと思っています。

私はこの春大学を卒業し、小学校教師になりました。大学1年生の時に初めて出会った当時小学2年生の子が、6年生になっていました。心も身体も立派に成長していく姿を、親戚のおじさんのように嬉しく感じます。これからもリフレッシュプログラムが、お互いの成長を感じられる暖かい場になればと思っています。いつもご支援くださる皆様に多大なる感謝を申し上げます。今後ともよろしくごお願い致します。



学童保育を訪ねて

●第1期 3月27日(火)～28日(水) あおぞらこども園／檜葉南小学校体育館

1日目は体育館で運動会を実施しました。子どもたちはどの競技も本気で取り組み、たくさん体を動かしていました。実施にあたっては指導員さんに助言や手助けをいただいたことで、スムーズに活動することができました。



人間知恵の輪



二人三脚リレー



おいかけ玉入れ



おせんべい食い競争



2日目は午前中に学校の離任式がありました。そのため、子どもたちが来るまでの間、地元の方に檜葉町を案内していただきました。震災から7年経った今も被害を受けた場所の再開発が進んでいない場所もあり、現状の厳しさを感じました。

午後はこども園で室内遊びをしました。

●第2期 4月3日(火)～4日(水)

あおぞらこども園／檜葉南小学校体育館

3月の訪問を受けて、学生と遊ぶことを楽しみにしてくれていた子どもたちが多くいて嬉しかったです。

1日目はブーメラン作りをしました。少し難しい作業もありましたが、出来上がったときの達成感は大きかったようです。出来上がった後は投げる練習や、ブーメランの飾りつけを楽しんでいました。



みんな真剣…



どれくらいとんだかな？

2日目は朝から体育館に移動し、昨日作ったブーメランを投げたり、レクリエーションをして過ごしました。ブーメランは投げるコツがつかめず、なかなか上手く投げられない子どもが飽きてしまう場面がありました。その際に指導員の方から途中であきらめてしまう子どもも多いため、辛抱強く取り組むことの大切さも学んでほしいという思いを伺いました。途中で楽しんでもらうだけでなく、子どもの成長を考えることも大切だと感じました。午後は子ども園でゲームやトランプなどの室内遊びを楽しみました。



イントロ障害物レース

1日目は体育館に行ってレクレーションをしました。工夫して企画を考えたことで、子どもたちが積極的に参加してくれました。

また、現地の様子の変化も感じました。最寄りの竜田駅は新しく道路ができたことによって、以前よりこども園へのアクセスが良くなっていったとともに新しいお店ができており、駅周辺も変わりつつありました。



得点別しぼとり

2日目は27名の子どもたちと一緒に調理実習をしました。6つの班すべてに食生活推進委員の方がついていましたが、そのうち3つの班に学生が入りサポートをさせていただきました。

この日は調理だけでなく、福島栄養士会の方から朝食についてのお話もありました。

子どもたちはけがもなく、楽しみながら取り組んでいました。

完成！みんなでおいしくいただきました。



～メニュー～

- ・ごはん
- ・ツナと野菜のチーズ焼き
- ・トマトとじゃこのサラダ
- ・きのこたっぷり味噌汁
- ・ヨーグルト

ひまわりプロジェクト

NPO 法人シャロームより送られたひまわりの種を、リフレッシュプログラムの中で交流している山北町立三保小学校の校庭に植えてもらいました。そして今年の夏、大きなひまわりの花が咲きました。

この後、種を再び福島に送って、ひまわり油やドレッシングに加工して製品化していきます。



ひまわりを育ててくれた三保小学校のお友達と一緒に

満開の
ひまわり花壇！



ご支援・ご協力をいただいた方々

WE21 ジャパン/WE21 ジャパンこうほく/WE21 ジャパンとつか/WE21 ジャパン藤沢/WE21 ジャパンよこすか/岡部幸江/かながわ生き生き市民基金/神奈川県教職員組合/神奈川県高等学校教職員組合/神奈川県内広域水道事業団/神奈川県広域水道サービス(株)/神奈川県ネットワーク運動/かながわボランティア活動推進基金 21/共和のもり/高校年金友の会/小林紀子/さち/生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ/生活クラブ生活協同組合神奈川/全水道神奈川支部/丹沢湖ロッヂ/丹沢荘/千村和司/とれたて山ちゃん/榎葉町教育委員会/榎葉町社会福祉協議会/榎葉町立榎葉南北小学校/2010 オリーブの木/ビートルズのチカラ!/日野彰/福島原発かながわ訴訟を支援する会/双葉町教育委員会/双葉町立双葉南北小学校/三菱みなとみらい技術館/山北町役場/山北町教育委員会/山北町立三保小学校/横浜コスモワールド・泉陽興行(株)/横浜市教職員組合/Love & Peace/ランドマークタワー・三菱地所グループ/吉野裕之/和布細工工房「ほのぼの」(五十音順)

賛同団体

WE21 ジャパン/WE21 ジャパンいそご/WE21 ジャパンこうほく/WE21 ジャパンさかえ/WE21 ジャパン藤沢/WE21 ジャパンよこすか/MD 女子会/神奈川県高等学校教職員組合/神奈川県高等学校教職員組合復興対策委員会/神奈川県広域水道サービス(株)/神奈川県平和遺族会/相模原商事/週刊金曜日を応援する会/神高教シニア運動/すこやかコーポレーション/全水道神奈川支部/2010 オリーブの木/東日本大震災・復興支援まつり 2017 実行委員会/ビートルズのチカラ実行委員会/避難者の会・かながわサポーターズ/ユニオンヨコスカ/W.Co 花もめん/W.Co 森のはらっぱ (五十音順) **8月31日現在 23 団体**

賛同個人

荒川淳/石川美佐緒/石下直子/石田浩二/井出都/伊藤大介/伊藤照子/伊藤知子/稲垣博美/岩瀬恵子/岩田容子/上野勝/梅田悦子/益塚初枝/蛭谷康一/及川謙詞/大野圭子/大治朋子/奥村美知子/奥山一恵/小津みち子/小山千鶴子/鍵山賀子/加藤美恵子/金栗聡/金澤あゆみ/金子千代子/金子文夫/鎌田広将/亀井君枝/木村早苗/日下景子/工藤妙子/國井哲男/久保新一/窪田桃子/倉田謙/高力英夫/小海憲子/古座野郁子/児玉王子/五反田能子/五藤久枝/阪井依子/酒井亮介/坂上みつる/坂上美代子/佐々木紀子/佐々木智子/笹野和恵/佐藤公彦/佐藤みつ/佐藤令子/佐野清文/佐野花子/地代所達也/篠崎栄子/嶋崎利男/杉田恵子/鈴木江郎/鈴木操/高木笑美/高野克美/高橋厚子/高橋祥夫/竹田邦明/立岡英宏/田沼時代/千野紀美子/塚本鉄男/柘植敬子/露木順一/露木淳子/鶴田賀陽子/鉄地河原清美/土井昌治/遠野はるひ/戸田真由美/中川登志男/長崎羊子/永瀬裕子/中村潔/中村光一/中村徳子/中村信子/仁上博恵/錦織順子/新川順子/沼里和幸/野口いづみ/蜂谷隆/原ヨシ子/日浦幸子/東祐司/福島健太郎/藤井あや子/藤島政彦/藤見睦彦/藤本泰成/古河和男/古川文乃/風呂橋修/辺見妙子/前田正裕/松田正/松原ノリ子/松本明子/真矢公子/三輪純子/三輪智恵美/向田映子/武藤一羊/村田一利/村田隆/村田弘/村田由美子/森幸子/森信一/森信壽/森下育代/八島忠義/梁島曉美/山浦真由美/山際正道/山城恵子/山田俊子/山中悦子/山西道子/山根徹也/山本明德/横山満里奈/湯川裕司/吉田哲四郎/吉田明(横浜市)/吉田明(町田市)/若林智子/渡辺郁江/渡辺正子 (五十音順)

8月31日現在 139 名(名前不掲載 1 名を含む)

会計報告

神奈川リフレッシュプログラム収支報告

(2018年4月1日～8月31日現在)

収入の部

寄付金及び賛同金	978,802 円
パルシステム助成金	300,000 円
団体繰越金繰り入れ	391,857 円
合計	1,670,659 円

支出の部

■ 学習会・研修会	41,886 円
宿泊費及び食費 (丹沢荘・BBQ)	751,900 円
学童移動バス代	
・学生交通費	361,152 円
プログラム保険料	20,764 円
横浜散策経費	55,071 円
大学生学童交流	
・事務局渉外対応	143,688 円
運営費(通信費、広報費、事務費等)	290,666 円
雑費	5,532 円
合計	1,670,659 円

おわりに

昨年に続き今年も台風が襲来しましたが、山北町のみなさまの協力もあり雨の合間を縫ってほとんどのプログラムを実施することができました。学生・OBの「こらっせユース」と一緒に雨バージョンを考えていたので、気持ちに余裕がありました。経験は大事ですね。

今年のプログラムは、若い世代の事務局スタッフ、そして「こらっせユース」と、若い力の頭が目立ちました。プログラム中はよく気づき動いてくれました。この報告書も、横山・窪田さんが編集しました。帰路は台風の為、日立駅で約2時間の足止め。そこで本領を発揮したのが、福島から参加してくれているボランティア、根本さんと佐藤君。「こらっせ」のバトンを渡す若い世代が育ってきているのを感じています。

最後にこのプログラムを支えてくださっている賛同人・団体のみなさまに感謝し、引き続きのご支援をお願いいたします。

「福島子ども・こらっせ神奈川」事務局 長 遠野はるひ

スタッフ

●こらっせユース

内海克也/熊谷健太/澤野富貴/柴田一樹/杉野迅/鈴木香瑠/高田隼矢/坪井香澄/濱本もも/古屋結麻/青木愛美/伊藤真亜沙/太田裕貴/岡沙奈南/加藤柚菜/佐藤聡/吉本海聖

●市民ボランティア

伊藤知子/岩成銀河/金澤あゆみ/根本イエンズ

●事務局スタッフ

伊藤大介/稲垣博美/金子文夫/窪田桃子/高橋おいどん/遠野はるひ/錦織順子/蜂谷隆/藤井あや子/山際正道/横山満里奈/若林智子 (50音順)



賛同人を募集しています！

賛同金(一口) 個人 3,000 円 団体 10,000 円

ご賛同いただける方は、振込用紙に住所・電話番号・メールアドレスの記載をお願い致します。報告書、ニュースレターをお送りします。

振込先 郵便振替

口座名称 福島子ども・こらっせ神奈川

口座番号 00270-7-101155

「神奈川リフレッシュプログラム」2018年報告書

発行日 2018年9月22日

編集・発行 「福島子ども・こらっせ神奈川」

TEL:045-353-9008 FAX:045-353-9998

E-mail:info@korasse-kanagawa.org

表紙 メリノ 制作 事務局